



OLIVE ニュース 2月号 2015

3月の予定：上半期個別面談始まり 5日工賃支給 11日給食会議 理事会・評議員会

24日避難訓練

※個別面談へのご協力に感謝申し上げます。

事業所を変えるのは保護者の意見・そして関心度の高さ

▼共働きのせいだろうか、今は学校でも施設でも保護者の集まりが悪いと嘆いている。障がい者施設の保護者会でもその嘆きは深刻だ。福祉の現状を知っている人は知っている。知らない人は知らない・・・

この現象は障がい者家族にとっても対応に大きな差が出てくることを憂慮し、事業所としても変わりゆく障がい者福祉を説明しなければならぬと考え、このたび事業説明会を開催。

今回は、休日を出動日に変えた。その結果、九〇%を超える保護者が出席、活発な意見交換があり関心が低いわけではないことを痛感した。障がいの子の人生は親が情報を持っているか否かで決まるケースがある。まだ必要でない、今は考えられないという意見も出た。しかし、その時になって障がいのお子さんの対応がすぐ良い方向に決まるとは限らないケースが山ほどある。これは高齢者も同じことで、できれば今から課題として取り組むのが賢明だろう。

説明会の主な内容

- 一・かねてより進めていた親亡き後の施設の建設をグループホームに切り替えていく。
- 二・北海道避難所の進捗状況
- 三・好間町鬼越に完成する共生型福祉施設について

※その他として新事務局より後援会からの報告。

一・保護者会が平成二十三年度の総会で後援会の中に吸収合併されましたが、**今年平成(二十七年)より後援会の中で保護者部会として活動すること**を了解されました。今後は事業所と共に福祉の研修や行事企画等も積極的に行なっていくことを確認いたしました。

次回の保護者部会は事業所の研修日程に合わせて開催致します。

四月十八日(土) 多目的室午後一時半から開催。

(全員の出席をお願い致します)

平成27年度以降の事業計画について説明会を開催致しました。保護者の方々ほぼ全員がご出席され関心の高さを感じました。併せて先に開催されました後援会総会の報告とともに、後援会の中での保護者の位置づけについて等、活発な意見交換があり大変有意義な集まりとなりました。



防火管理に事業所は毎月避難訓練を実施していますが、ただ逃げるだけではなく「どんな災害であるか」「こんな場合はどのように逃げるか」など、毎回出火場所を変えながら避難訓練にあたっています。**(とにかくにげるのが早くなりましたよ。利用者さんは・・・)** (防火管理責任者坂井達雄)



お墨付き



1月に県の指導で「おりいぶ人」の線量検査がありました。先月結果が通知され放射線量が検出されませんでした。このせっけんはおりいぶの主力製品で平成元年より続けて27年目になります。

今なお根強い人気で、環境に配慮したせっけんとしてエコマークの認定も受けております。売り上げは利用者の工賃となります。今後ご理解、ご愛顧頂きます様よろしくお願い致します。

寄付、物品寄贈の皆様

栗原 淳子様 半田 美江子様 瀧本 睦三様 金田 静子様 加藤 紘一様 新妻 勝則様 斉藤 康寿様
ありがとうございました。